



\\ 150年の感謝を込めて \\

ICP 質量分析計

ICPMS-2040

1,500 (税抜) 万円

2025年3月31日まで

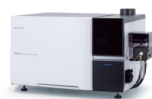
1875 (明治 8) 年に創業した島津製作所は、2025年に創業 150 周年を迎えます。150 年の感謝の気持ちを込めて、ICP 質量分析計「ICPMS-2040」を特別価格 1,500 万円 (税抜) でご用意いたしました。

ICPMS-2040 本体、PC・ソフトウェア、オートサンプラ、冷却水循環装置に加えて、測定の効率化・無人化に貢献する“内標準自動添加キット”および“溶液切替バルブ”が付属した充実したセット内容です。既設置のご更新や初めての ICP-MS のご導入にも、ぜひ本キャンペーンをご活用ください。



ICP 質量分析計 **ICPMS-2040**

キャンペーンセット内容



ICPMS-2040 本体
(ロータリーポンプ含む)



※画像はイメージです

PC、液晶モニター、
ソフトウェア



オートサンプラ
AS-20



冷却水
循環装置



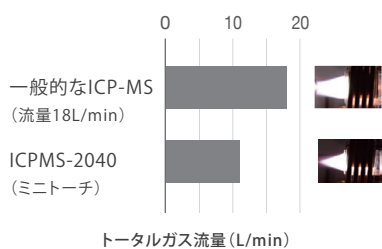
内標準
自動添加キット



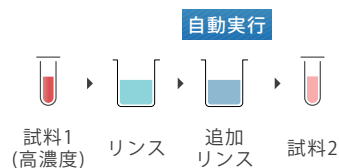
溶液切替
バルブ

※ 特別価格は「標準据付調整費」を含みます。その他、ご使用にあたって必要な付属品がある場合は別途お見積りいたします。
※ キャンペーンセット内容の詳細はお問い合わせください。

ICPMS-2040 の特長



100サンプルの連続測定を行う場合



拡張リンス機能

低ランニングコスト

島津独自のミニトーチシステムは、通常のプラズマトーチに比べ、アルゴンガス消費量を約 2/3(11 L/min) に低減しています。また、低価格な工業用アルゴンガス (99.99%) が使用できるため、大幅なコスト削減に貢献します。

測定時間を大幅に短縮

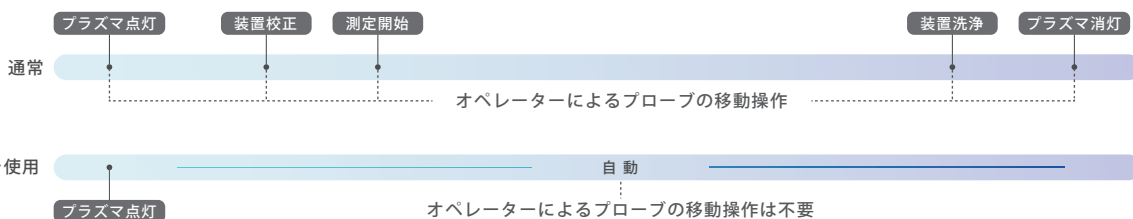
新設計ガスコントローラによる高速セルガス置換、および先行リンス機能により、特別なオプションを使用することなく測定時間を大幅に短縮できます。

※ 測定時間の短縮効果は測定条件により異なります。

オペレーターの負荷低減

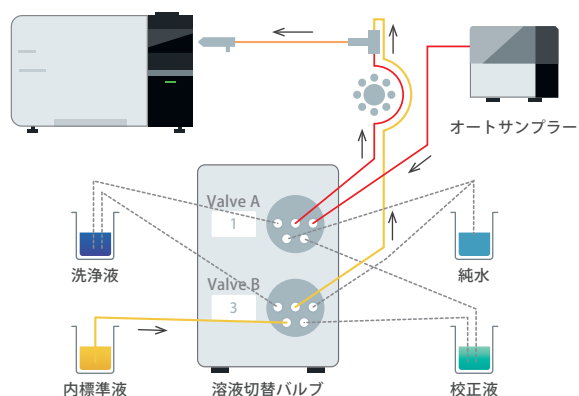
指定した元素の定量値が上限を超えた場合に事前に設定した追加リンスを自動実行する機能です。これにより、オペレーターはキャリーオーバーが発生していないかを都度確認する必要がなくなります。

溶液切替バルブ – プラズマ点灯以降の無人運転を実現 –



溶液切替バルブを使用すると、装置校正から測定、装置洗浄、プラズマ消灯までの一連の操作は装置が自動的に行います。

内標準自動添加キット使用時の導入溶液切替はソフトウェアから制御できます。内標準側と試料側それぞれ最大4液を切替可能なデュアルバルブ仕様です。測定終了後の装置洗浄、プラズマ自動消灯に加え、チラー自動停止も設定できます。



本文書に記載されている会社名、製品名、サービスマークおよびロゴは、各社の商標および登録商標です。なお、本文中では「TM」、「®」を明記していない場合があります。本製品は、医薬品医療機器法に基づく医療機器として承認・認証等を受けておりません。治療診断目的およびその手続き上での使用はできません。トラブル解消のため補修用部品・消耗品は純正部品をご採用ください。外観および仕様は、改良のため予告なく変更することがありますのでご了承ください。